

平成 28 年第 8 回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	平成 28 年 7 月 13 日 (水)	
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター 3 階 大会議室	
開 閉 会 日 時	開 会	平成 28 年 7 月 13 日 (水) 午前 9 時 30 分
	閉 会	平成 28 年 7 月 13 日 (水) 午前 10 時 52 分
出 席 ・ 欠 席 委 員	出席委員	二見吉康・清胤祐子・河野義文・池野博文・正山幸夫
	欠席委員	なし
職務により会議に出席した者	次長 生涯学習課長 学校教育課長 主幹 主幹	片山豊和 栗栖浩司 長尾航治 沖本直樹 萩原英子
会議に付した事件及び採決結果	なし	
報告協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 7 月・8 月の行事予定について 2 安芸太田町科学アカデミーについて 3 協調学習の推進 (評価) について 4 服務規律の厳正確保について 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教員採用候補者選考試験志願状況について ・町議会第 7 回臨時会に提案する議案について 	

【 議 事 録 】

日程第 1、開会

(午前 9 時 30 分開会)

教育長)

ただ今より、平成 28 年第 8 回安芸太田町教育委員会会議を開催いたします。

今年の梅雨は雨が多く、ようやく梅雨明けの時期を迎えています。本日は警報が出ましたので町内の小・中学校も全校臨時休業の措置をとっています。今のところ特段の事故等の報告は入っておりません。

それでは今日の会議に入ります。今日の報告協議の項目を見ていただいて、公開になじまないものがあれば後に回して審議したいと思いますが、いかがいたしましょうか。

清胤委員)

その他の項目にあります「安芸太田町議会第 7 回臨時会に提案する議案について」は、正案となる前の内部検討について報告を受け協議するものでありますので非公開が適当ではないかと思えます。

教育長)

他にご意見はありませんか。

それではただ今の発言について採決いたします。報告協議 5 その他の「町臨時議会に提案する議案について」を公開しないことに賛成の方の挙手を求めます。

(全 員 挙 手)

全員賛成と認めます。したがって本日の議題のうち、「安芸太田町議会第 7 回臨時会に提案する議案について」を公開しないで審議することといたします。

日程第 2、教育長報告

教育長)

それでは今日の日程の 2 に戻りまして、報告をさせていただきますので報告協議資料 1 ページをお開きください。

前回の教育委員会会議以降の状況でございますが、6 月 15 日から 27 日まで教育委員の学校訪問をしていただきました。後ほどご意見等があれば述べていただきたいと思います。

19 日の町民グラウンドゴルフ大会は悪天候のために中止とさせていただきました。

30 日加計小学校の第 1 回学校運営協議会を行い、コミュニティ・スクールがスタートしました。

7 月 1 日に戸河内小学校の校舎建設工事のための安全祈願祭が行われました。

2 日の NHK ラジオ公開番組「民謡を訪ねて」の収録には 450 名を超える来場があり、満席状態で多くの方に楽しんでいただくことができました。

6 日に日本郵便株式会社から加計郵便局長も含めて来訪がありました。2016 年のリオパラリンピック代表の別所キミエ選手に激励のはがきを送る取組をしたいので母校に協力をお願いしたいということでした。別所さんはご出身が津浪ですので加計小学校と加計中学校にお願いに行かれました。これは往復はがきで激励の絵や言葉を書いて別所さんに送り、別所さんから一人一人に返信でメッセージをいただくというものでございまして、夏休みまでに送るということ考えています。

明日から私は全国町村教育長会がありますので参加してきます。来年度の概算要求に向けて

国への要望をしてきたいと思います。

町長部局が行います地域懇談会が、来週から始まります。筒賀・加計・安野・戸河内それぞれの会場・地域におけるテーマの希望の中には、主に筒賀地域からなのですが筒賀中・戸河内中学校の早期学校統合を願うご意見があるようです。それ以外は特に教育問題はなかったと思います。

東京大学で7月最後の土・日に、全国から集まって新しい学びプロジェクト拡大研究推進委員会が行われ、町内から教職員数名が参加することになっています。

2の学校経営の再点検についてですが、学校訪問をしていただいて次の点についてご意見をいただければと思います。子どもたちの作品の掲示状況や取扱いについてであるとか、鉛筆の持ち方とか学習の姿勢とか、また子どもの発表やその姿勢についてお気づきの点はいかがでしょうか。また、学校の施設や設備の管理状況、あるいは家庭学習の習慣化や宿題についてご意見やご質問があれば後ほどお聞かせいただきたいと思います。私なりに改めなければならないことやご指導いただいた点ができていないと感じたことがありましたので項目を挙げさせていただきます。後ほどよろしくお願ひします。

3の夏季休業中の学校の危機管理については、今後の校長研修会と教頭・事務長研修会でここに挙げたことを指導していきたいと思います。もうすぐ夏休みに入りますが、学校の安全管理、施設の管理について、特に夏休み中は、子どもの姿が見えにくくなりますので、校外での事故防止、保護者との連絡体制というも含めた組織的な対応が必要です。また、子どもがいなからこそ総点検もできる時期だと思ひますので、ハード面での異常を早期に発見し対応していきたいと思ひます。全国的にも毎日のように熱中症で救急搬送されたニュースがありますが、今からの残りの期間や夏休み中の部活動あるいは登校日に熱中症にかからないように安全対策の徹底を図りたいと思ひます。

教職員の主にメンタル面で健康管理に課題を生じているところがありますので、職員の特別休暇であります夏季休暇や年間を通じた年次有給休暇の取得を促進するよう指導してまいります。職員も夏休みに旅行をしたり、通常の勤務とは違ったりする中で、従来、様々な不祥事が発生しております。こういう機会だからこそ夏休み中に不祥事防止のための研修など様々な有効な計画をしてほしいと思ひています。

教育課程の管理につきましては、いわゆる授業時数や教科書の進捗状況等をこの時期に確認して2学期以降に間に合わないものを早期に回復させることが必要だと思ひます。情報の漏えいという問題がありますけれども、組織的な管理体制の徹底を図りたいと思ひます。

今年度も日本技術士会中国本部の方と広島工業大学の学生のご協力をいただいて、いわゆる理科実験教室なる「安芸太田町科学アカデミー」を開催するよう準備を進めております。内容については後ほど報告させていただきますが、今年で4年目になります。回を重ねてまいりますと日本技術士会の皆さんも大変積極的に、前向きにとらえていただいております。安芸太田町での取組がステップとなって技術士会の次の活動に繋がっていると思ひます。ありがたいことだと思ひています。

最後に服務規律の確保について、管内でもいろいろと交通事故など不祥事が続いているようですので、引き続き校長研修会、教頭・事務長研修会等で未然防止の指導してまいります。私からは以上でございます。

もしよろしければ学校を訪問していただいた中でのお気づきの点を資料の5点のどれでもよろしいのでご意見をいただければと思ひます。他のことでもよいのでご質問やご意見がありましたら願ひします。

河野委員)

2点意見があります。1点目は加計中学校のインターロッキングについてです。体育館の工事中にスクールバスの敷地内への乗入によって破損して危険な状態になっていました。これは

夏休み中に工事をやっていただけると聞きました。ありがとうございます。それに加えてランチルーム前に樹木が植えてあるのですが、工事のために2本ほど枯れています。これは工事の関係ということで早いうちに業者に要望していただければ対応も早いのではないかと思いますのでよろしくをお願いします。

もう1点は上殿小学校の校長室のことです。当日も意見を出させてもらいましたが、いろいろな事情がある中で校長室が校舎と別の場所に離れています。これは今の社会状況の中では大変よろしくないと考えております。事情はあると思いますが、何らかの改善、危機回避、安全の措置をしっかりとっていただき、もしもということにならないようにご配慮をお願いしたいと思います。

教育長)

後で事務局からまとめて回答させていただきます。他にいかがですか。

清胤委員)

今回の学校視察は学校統合が行われてから第1回目であり、裁判が行われている地域についても心配でしたので、7校全部回らせていただきました。学校統合したところは人数も増えて子どもたちも活気があふれてよくがんばっているなという雰囲気伝わってきました。細かいことを言うとスクールバスの時間が長いとか疲れるとか慣れるまで大変だとかあると思うのですが、より多くの人数の中で揉まれるという貴重な体験を今がんばっているのではないかと応援したい気持ちでいっぱいになりました。

次に筒賀小の屋上を校長先生に「素晴らしい展望ですよ」と案内していただいてそのとおりで思ったのですが、「ここから入ってはいけません」というようなロープとかチェーンとか立て看板とか全く何もなかったことが後になって心配になってきました。子どもたちがすばらしい眺望であるがゆえにこれから暑くなると涼しさを求めて、登ったりして事故が起きないとか、大人の目の届かないところですから何かが起こってはいけないといろいろ思いました。あの時にも申しましたがやはり立入禁止の看板やロープなどで平常時は立入禁止ということ徹底していただきたいと思いました。

それから河野委員もおっしゃいましたが加計中の正面玄関のところの植木が枯れているので気になりました。やはり学校の顔になる部分ですから、せっかく体育館がきれいになりましたし、あの美しい環境で子どもたちの心も美しく教育していただきたいと思えます。この植栽のことは簡単なことで、升目によっては沢山植えてあるので少し他の場所に植え替えていけばよいと思えます。夏休みの期間にきれいにしていただけたらありがたいと思えます。

正山委員)

筒賀中学校と戸河内中学校に行かせてもらいました。教室自体は快適に過ごしていると生徒から聞いてありがたいことだと思えました。

そのときにも話に出たのですが、戸河内中学校の教職員がやはりいろいろな面で気遣いというか大変だと感じておられると聞きました。生徒はそうでもないようで、のびのびとやっている様子だと思いましたが、先生はいろいろと今の環境の中で、2つの中学校が間借りをしているといった負い目といいますか、気遣いの中で指導しておられるのだと思えます。その教職員の様子が生徒のほうに出てくると生徒もまたそういうところで気をもんだりしますから、できればそういった面でのバックアップを教育委員会の事務局にいただければと思います。今は2つの学校が1つの場所にありますので一緒にやっていくという方向性をもっと進めていただいて、町長とともに統合ということを推し進めていただけたらよいと思えます。

池野委員)

筒賀中学校と戸河内中学校の状況はある意味ではピンチの対応だったのですが、せっかく子どもたちがあの場にいるわけですから、人間的なふれあいといいますか、一緒に生活するせっかくのチャンスですから有意義に生かしていければと思います。あまり先のことを心配して尻込みするよりもせっかくの機会を生かしていただければと思います。

教育長)

事務局から質問への回答をお願いします。

教育次長)

河野委員からご意見のありました加計中学校のインターロッキングにつきましては、予算が関係しますので夏休み中の対応を考えています。清胤委員を含めました植木の関係につきましては現地を確認して対応してまいります。

上殿小学校の校長室の場所についてはごもっともであると考えております。6月初めに転入生があり教室の不足からこのような対応となりました。児童数が増えるといった喜ばしい反面、旧幼稚園の一部利用をしなければならない状況になりました。安全面については早急に改善できるよう対応してまいりたいと思います。

筒賀小学校の屋上への非常階段のことについて、有事の際に避難する経路を断ってしまっただけとはいけないということもありますが、土・日にはサッカーの練習試合等で広島市内からも来られます。ロケーションがよく、上がろうと思えば上がれる状態になっていますので転落防止等のため入口のところに移動可能な看板を設置するように計画中です。

正山委員、池野委員からご意見をいただきました筒賀中学校と戸河内中学校の件ですが、統合を進めてほしいという地域からの要望事項もあります。できるだけ早期に解決できるように進めてまいります。

学校教育課長)

筒賀中学校と戸河内中学校のことについて補足します。現在校長室を2校一緒に使用しています。職員室は別々となっていますが、今後生徒の進路相談や職員の面談等で校長室が別々のほうがよいだろうということで校長室を2室、職員室を1室となるように変更の計画を立てています。

教育次長)

戸河内中学校の部活の状況ですが、現在平日は筒賀中で行い、土・日は戸河内で行うようにしています。夏休み中にも筒賀中学校で実施できるようスクールバスの対応を計画しています。

教育長)

他にございますか。では私の報告は以上とさせていただきます、日程第3報告協議の1、生涯学習課の7月の行事予定についてお願いします。

生涯学習課長)

7月16日に筒賀地域で親子クリーンハイキングを実施します。現在スタッフを合わせて70～80名が参加する予定です。今回はジュニアリーダーの育成ということも目的としています。廿日市市では高校生が中心となって子ども会の行事の運営に携わっておられます。今回は加計高校の生徒や廿日市市でジュニアリーダーをしている子どもたちも来てもらい一緒に行うこととしています。子ども会は中学生までなのですが、このように高校生も参加することとしています。

もう一つは、高校の全国ライフル射撃大会が開催されます。こちらは例年どおりなのですが、参加校がまだ把握できていませんので詳細等は未定です。今年は全国高校総体が中国地方で行われ、宿泊施設の確保が難しいということもありますので民泊の活用も検討してまいりたいと思います。

教育長)

何か質問がございますか。それでは2の安芸太田町科学アカデミーについてお願いします。

沖本主幹)

レジュメ4ページをお開きください。本事業は日本技術士会中国本部の技術士の方と広島工業大学の学生にお手伝いいただき実施しているもので、今年が4年目になります。昨年度までは本町で2回実施し1回は広島市で開催される青年技術士会の行事に参加させていただきました。今年度は、広島市での会場が狭いことから本町での2回の開催のみとしております。

第1回は8月4日(木)に科学工作を中心に実施します。放課後子供教室からの参加もあり、低学年から中学生まで同じプログラムでは難しいので、2つのグループに分けて行います。第2回は8月27日(土)にダンボールでイス作りを予定しています。ダンボールを切って丸イスや台形のイスなど強度を考えながら実際に座ることのできるイスを作りたいと思います。申込みは学校を通じて行い、遠方の児童生徒も参加しやすいように町教委で公用車による送迎を行います。

昨年度は町商工会から模型飛行機作りの話をいただき、この事業の中で行いましたが、短時間では難しいことから今年度は放課後子供教室の中で数日間にわたって製作や競技会を行うこととしております。

教育長)

何か質問がございますか。それでは3の協調学習の推進(評価)についてお願いします。

萩原主幹)

今日は教育委員会議の記録ということも含めて、お一人ずつピンマイクの準備をさせていただきました。

本町で進めております協調学習の評価に使うため、中谷財団の科学教育振興助成により購入したものです。中央に置いておりますのがミーティングレコーダーといい、4方向にカメラがついており、周囲の映像と音声を記録することができる機器です。これを授業では各グループに1台ずつ置き、子供たちの学んでいるようすを記録するものです。今付けていただいているピンマイクとICレコーダーも一人一台ずつ記録できるように25台購入しました。これを使って授業中に子供たちがどんな話し合いをしているのか記録して分析しようという試みです。こちらのスクリーンに映しておりますのが、音声を認識してテキストに変換するソフトを使ったものです。ご覧のように認識率はこの程度ですので十分とは言えませんが、初めからキーボードで入力していくよりもパソコンで変換したものを修正していくほうが労力は少なく済むのではないかと導入したものです。このような方法で子供たちが学んでいく様子を映像やテキストとして記録していくことで見えてくるものがあるのではないかと進めているところです。

なぜこのようなことをするのかについてお話しします。これまでは子供たちが学校で勉強して何がわかって何ができるようになるのかということの評価してきました。どういう知識をたくさん得たのか、どれだけ早く正確にできるのかということが評価の対象でした。ですから最後にテストをしてその時にできたかできなかったかを点数化することで評価をしてきました。

これから求められている教育というのは、文科省も示しているように「何ができるようにな

ったか」ということに加えて「どのように学んだか」ということが重要です。そこが充実するような教育を小学校の時から大学でもやっという方向で学習指導要領の改訂も進められています。資料5ページをご覧ください。協調学習の知識構成型ジグソー法の授業でどのような評価が可能かということもC o R E Fでまとめたものを載せております。

左側が授業の流れを示しています。中央がワークシートへの記入となっておりますが、はじめと終わりにその時間に考えさせたい課題に対する自分の考えを記入することとなっております。授業の前後で書いた内容を比較することによって変容を見取る方法です。「授業前後理解比較法」と呼んでいます。一人一人の児童生徒の考えがどのように広がったか、あるいは深まったのか記述した内容を分析します。この方法は本町でもすでに実践をしています。この方法では、途中でどのように考えが変化したのか分かりませんので、対話を録音して分析してはどうかというのが、右側に書いてある「多面的対話分析法」です。そのための録音を先ほどの機器を使ってこれから本町でもやってみようと思っています。実際にこれまでも子供たちのまわりを回りながら子供たちの発言を聞き、様子を見てきているのですが、すべてのグループ、すべての児童生徒、すべての発言を聞き、メモすることはできません。授業者が生徒の発言をしっかり見取ることができれば児童生徒の学びの様子が見えてくるというのが機器を導入した目的です。加計中学校で英語の授業を記録したものがありますのでご覧ください。

(授業の映像を視聴する。)

授業の中でも教員が巡視しながらアドバイスをしますが、この映像を見ると困っていたり、微笑んだり、教師のほうを注視していたりと生徒の表情がよくわかります。このようにして一人一人が学んでいる姿を見ていこうという取組を始めています。

先ほどのテキスト化についてですが、この春から加計中に来ている高知県教委派遣の上岡教諭は、自分の授業での生徒の発話をパソコンに入力して分析してみました。すごく入力に時間がかかったということなのですが、「普段自分の知らないところで生徒がこんなことを話しているのだということが分かって、生徒の見方が変わりました。」と言っていました。また、「最後のクロストークでの発表で出てきた考えがどういう脈絡の中で出てきたのか、そういう考えにたどり着くまでにどんな話し合いがあったのか知ることができた。」「この子はこういう子だとか、授業にあまり参加しない子だとか決めつけていたところがあったが、意外とグループの中ではうまく話を進めていたり、友だちの考えを認めていたり、何度も聞き返したりして子供の学びの良さにも気がついた。」ということも言っていました。私がすばらしいと思ったのは「普段の授業でもこういうことを意識して教材の作り方とか、発問の仕方とか、書かせる方法ではなく話させる方法で評価するとかいろいろな工夫をしてみようと思っています。」と言っていたことです。一番ねらいたいのは教員がこういう意識で子供を見たり、授業を考えたりしながら授業改善をしていくことです。こうやって子供の学び方が充実する授業を作っていくきっかけになればと思っています。もちろん毎時間このようなテキスト化ができるわけではありません。「この授業で」という授業でこのような評価を実践し授業力を上げてもらいたいと思っています。

清胤委員)

研究助成金ですばらしいものを購入されていると思います。今言われたように教員の授業改善にぜひ生かしてもらいたいです。なぜこの子はここでこのように考えたのか、そのなぜということを考えてもらうのに役立たせることができると思います。一人一人がこういうものを使って自分なりの学びを評価してもらえるとということで、今までは授業に参加しなかった子供も顔を上げて授業を受けることができると思いました。これからますます国際化、情報化していく中でこういった機器を使って学習することで意欲も向上すると思います。やがては遠隔地で離れたところの生徒と交流するようなこともできていくのだろうと希望のようなものを感じました。

教育長)

本町ではこれまで6年間やってきましたが、どうしても人事異動によって本町から出て行ったり、入ってきたりしますので、その時にこれまでの取組が薄まってしまいます。本町で取り組んでいることを広く他市町、他地域で理解していただく、隣の町でも、その隣の町でも取り組んでいただくということができれば、入ってくる人材を確保することができます。

そのためにはただ単にこういう授業の効果がありますと言うだけではだめで、全国学力テストでこうなりましたと言っても根拠のないことですから、このような今まで誰もやっていない方法で子供が変わっていく様子を捉えて、それとペーパーテストの結果をつきあわせて、ここが変わったのだと言えるように授業効果を評価とセットにして示さないと説得力がないと思うのです。そういう意味でこういうことが広く広がっていかないと毎年協調学習の研究ばかりをやる町になってしまいます。こういう評価方法が固定化していき、当たり前になるように先駆的に進めることができればと思っています。これから先、タブレットを使ったより省力化した方法も模索したいと思っています。

河野委員)

気がかりなのは、新しいことを手掛けていく中でただ教職員の負担が増えないかということです。すばらしいことというのわかりますし、毎時間でないということも聞きましたが、後でかなり時間が必要だということになれば、他のことでもかなり負担が増えてきているということを知っているから、教職員と理解を深めながら取り組んでいかないと安芸太田町だけ先進的なことをやるので負担が多いということになってはいけないと思います。それだけを心配しています。

教育長)

ありがとうございます。他にありますか。それでは4の服務規律の厳正確保についてお願いします。

沖本主幹)

(県教委記者発表資料を読み上げる。)

これまでも不祥事防止の研修会を行ってきている中で、こういった事案が発生するという事は、その研修の持ち方に問題があるのではないかとされています。当事者意識が足りないのではないかとということも指摘されています。

本町での交通安全研修を各校単位でと考えましたが、山県署の都合もあり、町内3会場で合同開催することとしました。引き続き、パワハラ、セクハラ、情報漏えいにつきましても各校での研修を続けてまいりたいと思います。

河野委員)

セクハラ等については、いろいろとマスコミでも報道されています。先ほど研修の方法について話がありましたが、私は癖というものがあると思っています。急にこういうことが起こるのではなく、事前に兆候があるのではないかと思います。平素から注意をしようような職場の雰囲気にしておかないと、いざことが起きた時に知らなかったでは済まないと思います。研修の持ち方というよりも普段の兆候に対する対応に甘さがあるのではないかと思います。事件の後でよく聞いてみると同じようなことが前にもあったということがよくあります。小さなことだと思って見逃さないということが大事だと思います。

教育長)

他にございますか。ではその他の項目で、教員採用候補者選考試験志願状況についてお願いします。

沖本主幹)

(資料をもとに各校種の倍率等を説明する。)

教育長)

何か質問がございますか。では先ほど公開しないとした議案について審議します。

(非公開で審議)

教育長)

次回の教育委員会議についてお願いします。

沖本主幹)

次回は8月9日(火)9時30分開会をお願いしたいと考えています。

教育長)

よろしいでしょうか。以上ですべての議案・協議を終わります。ありがとうございました。本日の平成28年第8回教育委員会会議は、以上をもって閉会します。

(午前10時52分 閉会)